

最下階合流用脚部継手
LJS-K 100x150

最下階合流システムの採用条件

最下階合流用脚部継手 LJS-K 100×150 を使用して最下階合流システムとする場合の条件を、以下にまとめましたのでご参照ください。

●LJS-K 100×150 を使用した最下階合流システムの採用条件(PDF)



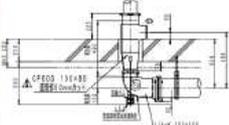
2015/06/30

LJS-K 100x150を使用した最下階合流システムの採用条件

LJS-K 100x150 (最下階合流用脚部継手) を使用して最下階合流システムとする場合は、以下の3つの条件を満足すること。

- 1 最下階排水横枝管芯と一次排水横主管芯の垂直距離は、最小494mm以上確保する。
- 2 排水立て管底部から一次排水横主管の第一水平曲がり、もしくは第一合流部までの距離は、最小1,000mm以上確保する。
- 3 一次排水横主管150Aの許容流量値を6.5 [l/s] として、管径を算定する。なお、二次排水横主管150Aについては、SHASE-S 206 に示されている通り8.3 [l/s]としてよい。





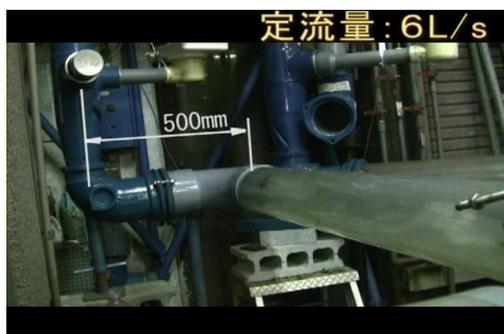
●LJS-K 100x150 最下階合流 横主管150A 1000x1700x2800 実験No:1-60
 排水負荷 SF:2.5[l/s]+BF:2.5[l/s]+F:1.5[l/s]……合計:6.5[l/s]

階数	管内圧力 [Pa]	管内圧力 [Pa]
9F	-349.6	120.2
8F	-326.7	122.3
7F	-305.2	151.9
6F	-281.0	190.7
5F	-228.0	222.8
1F	-199.0	240.4

Kojima Seisakusho Co., Ltd.

(2015. 06. 30 : グラフデータを修正しました。)

●横主管の流下状況(動画)



定流量排水



器具排水(泡)

●関連リンク

- 2012. 6. 15 最下階合流用脚部継手 LJS-K 100×150 仕様図・納まり図
- 2012. 5. 15 最下階合流用脚部継手 LJS-K 100×150